

# 屋外文化財の劣化要因と保存対策に関する調査研究 (ホ04)

**研究組織** 朽津信明、白石明香（以上、保存科学研究センター）、前川佳文（文化遺産国際協力センター）

**目的** 屋外に存在する人文資料や自然史資料を対象に、その劣化状況を適切に評価し、価値を回復して人々に有効に伝えるための適切な保存修復方法を検討する。

## 成果

屋外に所在する各種文化財の劣化状況、保存環境、保存対策について、以下の成果を得た。

- 史跡である南相馬市の薬師堂石仏において、福島県沖地震によって引き起こされた劣化を定量的に評価し、今後の保存対策の方向性について示した。
- 天然記念物附指定を受けている富岡市・オオツノシカの化石骨出土記念碑について計測を行い、現状に至る経年変化の過程を解明した。
- 重要文化財附指定を受けている祇園橋石造記念碑について、その劣化状況から劣化原因を特定し、望まれる保存の方向性について示した。
- 重要有形民俗文化財である蔓橋、重要文化的景観を構成する沈下橋、名勝を構成する橋状地形、さらに重要伝統的建造物群を構成する橋など、類似した存在でありながら様々なカテゴリで文化財指定を受けている対象について、過去の修復事例を比較検証して適切な保存のあり方について示した。



薬師堂石仏における三次元計測風景

## 論文

- 朽津信明、酒井修二、藤田将人：「富山市大山地域の恐竜の足跡化石の経年変化評価」『保存科学』62 pp.1-12 23.3
- 朽津信明：「文化財としての自然史資料の修復について」『保存科学』62 pp.143-162 23.3

## 発表

- 朽津信明、白石明香：天草市・祇園橋附石造記念碑の劣化と保存」文化財保存修復学会第44回大会 22.6.18
- 朽津信明、白石明香：富岡市・オオツノシカの化石骨出土記念碑について 日本文化財科学会第39回大会 22.9.10
- 朽津信明、白石明香：福島県沖地震に伴う薬師堂石仏の劣化とその評価 日本応用地質学会2022年度研究発表会 22.10.13-14